

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- 信頼関係をすべての教育活動の基盤とし、子どもが安心・安全で過ごし、「まち」とともに歩む学校を目指します。
- ・生活科・総合的な学習の時間を学級経営の核とし、学ぶ楽しさを実感し、子どもの表現を大切にしながら学力の向上を図ります。
 - ・一人ひとりの思いや願いを大切に、自分に自信をもって行動することで、子どもの自尊感情を育みます。(特別支援教育、国際教室の運営などを個のニーズに合わせて行います。児童理解も丁寧に取り組みます。)
 - ・基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な日々を送れるようにします。
 - ・豊かな体験と人とのかかわりを通して、「まち」とともに生きる子どもを育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	様々な人とかかわりながら、他を思いやる心の大切さを価値付けることで、一人ひとりの自尊感情を育み、よりよい人間関係を築いていく。	①気持ちのよいあいさつを日常から全職員・全児童で取り組み、あいさつ運動を展開する。 ②人権を大切に、「だれもが」「安心して」「豊かに」学校生活が過ごせるよう、人権週間を中心に取り組む。 ③自己有用感が高まるように各教科で横浜プログラムの理念を取り入れた学習活動を展開する。
担当	道徳部	

2 児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

目標が明確なことに対しては前向きに取り組むことができる。特に、生活科・杉田の時間では自ら課題を見つけ取り組もうとする姿勢が育ってきている。しかし、まだまだ自分に自信がもてず、自己表現を苦手とする児童が多い。そのため、相手にうまく気持ちが伝わらずぶつかってしまうこともある。互いのよさを認め合うことで、自己有用感をもち、さらに自尊感情を高めていく必要がある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】 道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に年一回以上公開します。
- ・道徳教育について、学校だより、学級だより等にて家庭・地域に発信し、意識の啓発を図ると共に、連携して子どもを育み、家庭・地域の教育力を道徳の時間に生かします。
- ・道徳の教科書等の活用を通して、よりよく生きる基盤となるための道徳性の育成を目指します。

【項目「杉田の時間」(横浜の時間)】 杉田の時間などを通じた体験学習の充実

- ・生活科、杉田の時間などを通して、幼稚園・保育園や地域の方々などとの関わりを深め、実践活動を通して自分の生活を見つめ直し、よりよい生活を築こうとする態度を養います。
- ・集会や教科学習、特別活動等の中で縦割り活動などの異学年活動を充実させます。
「児童会活動」「クラブ活動」「わくわくクラブ発表会」等の「異年齢集団活動」をより自主的、意識的に行うようにします。

【項目 人権教育】「だれもが」「安心して」「豊かに」過ごせる学校づくり

- ・各学年の実態に応じて、周りの人を認め合うための学習、障害のある人への理解を深める学習、いじめや差別の問題などに気付き、具体的に行動できる子どもを目指した学習を取り入れます。
- ・一人ひとりの思いや願いを生かし、友達との学び合いの中で、協力し、お互いを認め合うことができるようにします。自尊感情を高めます。
- ・日頃の児童との関わりやY-Pアセスメントをもとにした児童の実態把握を行い、よりよい人間関係作りを意識した学級経営を行います。

【項目 特別支援教育】

- ・個別の教育支援計画を作成し、一人ひとりの子どもについて、全教職員で共通理解しながら取り組みます。
- ・外国につながる子どもに言語指導を主とした学習指導を国際教室で個のニーズに合わせて運営します。
- ・研修会などで配慮を要する子どもへの共通理解を図ります。